

令和4年度連携事業実績一覧表（桃山学院大学）

	実施件数	備考
実施事業 (○)	25	
未実施事業 (×)	8	コロナにより未実施 4件 その他 4件
計	33	

No.	大学_種類	事業名	大学担当部署	市担当部署	実施状況		内容	事業効果・成果	今後の課題等
1	インターンシップ	公共サービスのイノベーション人材育成事業	経営学部	市民生活部 市民室 出張所担当	○		【事業概要】 出張所の窓口サービスをより良くするための調査・提案活動を行う。 学生が現地調査を行い、そこから生まれた課題に対し、改善案の提案・実施に向け取り組む。 【実施内容】 出張所における窓口サービスについて意見交換をし、マイナナンバーカードの普及啓発のためのポスター作りを決定。	マイナナンバーカードの普及啓発についての調査・提案を行い、ポスターを作成し掲示。12月末まで和泉中央駅シティプラザ掲示スペース（2箇所）と出張所内掲示スペースに掲示済み。	窓口サービス改善案の積極的な提案・実施の検討。
2	インターンシップ	博物館学芸員課程 博物館実習	経営学部	生涯学習部 文化遺産活用課	○		【事業概要】 学芸員課程の実習生の受け入れ及び講師派遣 【実施内容】 ・いずみの国歴史館施設の見学（4月16日）（経営学科 井上准教授） ・いずみの国歴史館で学芸員課程の実習（9月8日、10日）（経営学科 井上准教授）	学生の感想として、学芸員の仕事に興味が湧いた。いずみの国歴史館に行ってみたいという反応を得ることができた。	学芸員を目指す学生に有益な事業やいずみの国歴史館にもっと学生に来てもらえるような事業の検討。
3	インターンシップ	教育・文化・スポーツの発展と振興に関する事業 （学芸員課程履修学生の受け入れ及び講師派遣）	経営学部	生涯学習部 久保記念美術館	○		【事業概要】 美術館施設の見学（4月か5月ごろ）及び講師派遣（7月ごろ） 【実施内容】 4月23日に7名の学生を見学実習として受け入れた。音楽ホールで展覧会と美術館について説明をおこなった。7月20日から24日の期間で桃山学院大学より実習生4名を受け入れた。学芸員が美術館施設の案内、業務内容の説明、美術品の取り扱い方法などを講習した。	施設見学の際にも学芸員の仕事について触れ、桃山学院大学での講義の契機とした。学生の感想として、学芸員の仕事に興味が湧いた。久保記念美術館に行ってみたいという反応を得ることができた。学芸員実習ではより詳しく学芸員の仕事を学んでもらい、社会教育施設の重要性を伝えることができた。	学芸員を目指す学生に有益な事業や久保記念美術館にもっと学生に来てもらえるような事業の検討、美術館におけるイベント等のボランティア育成で連携を検討したい。
4	インターンシップ	和泉シティプラザにおける桃山学院大学 インターンシップ実習生の受け入れ	キャリアセンター	生涯学習部 生涯学習推進室 生涯学習担当	○		【事業概要】 生涯学習連携事業の一環で実施しているインターンシップ制度。 受入先は、生涯学習センター、図書館、保健福祉センター、男女共同参画センター、和泉市役所出張所のいずれか。 【実施内容】 R4年度は生涯学習センターに2名の学生を受け入れ。	特になし。	毎回受入先の調整に苦慮している。
5	ボランティア	和泉ボランティア・市民活動センター 「アイ・あいロビー」での連携事業	ボランティア活動支援室	市長公室 広報・協働推進室 公民協働推進担当	○		【事業概要】 ももやまキッズランドの開催。 桃山学院大学の学生とボランティアが協力し、子育て世代の親子を応援する。楽しく交流できる場を企画。 【実施内容】 子育て世代応援「ももやまキッズランド」 「アイ・あいロビー」と桃山学院大学生の協働で、ボランティア団体も参加し、親子が楽しく交流できる場を企画。 ・6月25日 コロナ禍を考慮して屋外のエコール・いすみ「アムゼ広場」にて「プラ板づくり」や「ストロートンボ」などのむかし遊びを実施した（来場者約200名）。 ・12月10日 人形劇や手遊びの他、クリスマスにちなんで紙コップや松ぼっくりを利用してのツリー作りなどを実施した（来場者約50名）。	例年、年6回ももやまキッズランドを開催していた。数年間、コロナ感染予防で中止となったが、今年度は2回実施した。 子育て世代を中心とした市民にボランティア・市民活動に対する理解を深め、関心を持っていただくきっかけ作りとなったとともに、行政・企業・ボランティア団体間の交流や協働推進が図られた。	令和4年度は令和元年度以来3年ぶりに実施したが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で2回の実施に留まった。 令和5年度以降は実施回数を増やし、市民がボランティア活動に触れる機会や団体間交流等の機会を確保する。
6	ボランティア	防犯ボランティア「桃バト」	学生支援課	危機管理部 危機管理課	×	コロナにより未実施	【事業概要】 警察等とも協働し、防犯キャンペーン、交通事故防止キャンペーン、下校時見守り活動等のボランティア活動を行う。 〔令和4年度の予定（既存活動の継続）〕 ※新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえて実施 ・終ヶ丘小学校の下校時見守り活動 ・防犯教室の実施 ・青バト合同バトロール活動 ・各種防犯キャンペーンへの参加 ・各種防犯会議等への参加 【実施内容】 令和3年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響により事業中止。	—	※新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえて実施
7	ボランティア	徳太山クロスカントリー大会 I N大阪和泉	地域連携課	生涯学習部 生涯学習推進室 スポーツ振興担当	○		【事業概要】 大会を通じて大学の広報活動支援、大会当日の受付や走行ランナーの安全を確保する陸上競技部のランナーボランティア。 【実施内容】 大会には陸上競技部から6名のボランティアにご参加いただいた。	安全な大会運営に寄与した。	大会の慢性的なスタッフ不足があるため、ボランティア人数の増員を望む。
8	ボランティア	IZUMIスポーツフェスティバル等のイベント	スポーツオフィス	生涯学習部 生涯学習推進室 スポーツ振興担当	×	コロナにより未実施	【事業概要】 大学のサブアリーナを会場として、年数回程度種目を変えながら老若男女問わずニュースポーツ教室を実施。 【実施内容】 近年は新型コロナの影響で大学のサブアリーナを借用することができず、実施に至っていない。	—	コロナによる借用制限が解除された際には、多数ある学校部活動等から連携事業用に枠組みを確保いただけるよう調整および交渉が必要。
9	ボランティア	公共図書館との連携事業	地域連携課	生涯学習部 生涯学習推進室 生涯学習担当	○		【事業概要】 ・市立図書館での事業を連携・参画して実施し、学生と地域の子どもたちや図書館利用が様々な形で形骸合う場の提供。（学生による絵本の読み聞かせなど） ・図書館司書課程を学ぶ学生に市立図書館の現場の仕事や取り組みを具体的に伝える。 【実施内容】 シティプラザ図書館において、学生による絵本等の読み聞かせを3回開催した。また、図書館司書課程を学ぶ学生1名を実習生として受け入れた。	読み聞かせについては、大人51人、子ども55人、計106人（いすもも証人証人証人）の参加者があり、本を通して子どもたちと学生が交流できる場を設けることができた。 また、司書を目指す学生に対し、自習の場を設けることができた。	実習生の受入について、シティプラザ図書館は職場体験の受け入れが多々あるため、日程の調整が難しいときがある。

令和4年度連携事業実績一覧表（桃山学院大学）

	実施件数	備考
実施事業 (○)	25	
未実施事業 (×)	8	コロナにより未実施 4件 その他 4件
計	33	

No.	大学_種類	事業名	大学担当部署	市担当部署	実施状況		内容	事業効果・成果	今後の課題等
10	桃山学生向け	法職オリエンテーション	法学部	市長公室 人事課	○		【事業概要】 学生の学習意欲の向上を図り、和泉市への関心や市政への参加意欲を高めるとともに、将来の就職先として和泉市職員の志望者数の増加を図るため、市長・職員が市役所の仕事や和泉市について講義を行う。 【実施内容】 【講義日程/対象者/講師】 ①令和4年6月3日（金）13時20分～14時50分 法学部3回生/人事課職員 ②令和4年12月9日（金）15時00分～16時30分 法学部1回生/人事課職員 ③令和4年12月16日（金）15時00分～16時30分 法学部1回生/市長 【講義内容】 ①～③和泉市の概要、市の組織、市の役割と施策、採用試験の概要 ④和泉市の概要、市の役割と和泉市の施策、市長の仕事とは、学生へのメッセージ	将来の就職先として市役所を市望し、新規採用職員に申し込みしてくれている。	—
11	桃山学生向け	デートDV防止講演会	法学部	総務部 人権・男女参画室 人権・男女参画担当	○		【事業概要】 国内外の男女共同参画施策の動向やSDGs（目標5ジェンダー平等）との関わりと、男女の人権尊重の推進の醸成につなげることを目的とし、学生や教職員、一般市民を対象に女性に対する暴力をなくす啓発事業の一環として、デートDVに対する正しい理解を深めるために講座を開催（法学部は授業の一環で単位取得の位置づけ） 【実施内容】 デートDVに対する正しい理解を深めるために講座を開催	SDGsの中から、ジェンダー平等について取り上げ、デートDVに係る国内外のデータの参照や対人関係とコミュニケーションを考える個人ワークを交えながら、女性に対する暴力をなくす運動に運動し、防止について考えを深めることができた。	
12	桃山学生向け	経営学特講一まちをビジネスする（観光ビジネス）	経営学部	環境産業部 産業振興室 随工観光担当	○		【事業概要】 令和3年度と同様に地域資源を活用した観光ビジネスの現状・発展の可能性について学ぶため、学生自らがフィールドワークにて得た情報に基づき、和泉市の観光ビジネス案を作成し、プレゼンテーション等を行う。（経営ビジネス学科の学生による全15回の定期講義） 【実施内容】 地域資源を活用した観光ビジネスの現状・発展の可能性について学ぶため、学生自らがフィールドワークにて得た情報を基に、和泉市の観光ビジネス案を作成し、プレゼンテーション等を行った。（経営ビジネス学科の学生による全15回の定期講義）	事業効果としては、市内の観光施設をテーマに来訪者を増加させる施策の検討などについて、講義を行い、その中で市内観光施設を学生の皆さんに知ってもらうことができた。	—
		経営学特講一まちをビジネスする（公共施設の経営）	経営学部	生涯学習部 生涯学習推進室 生涯学習担当	×	その他	【事業概要】 公共施設の経営をビジネスという観点から捉え、利用者を増やすための手立てを学生に提案いただくもの。 「和泉シティプラザの現状と課題」をテーマに市職員による課題を提示し、現地見学やグループディスカッションを行った後、学生にプレゼンテーションしてもらった。 【実施内容】 例年大学側からの依頼を受ける形で行っているがR4年度は特に依頼がなかったため実施していない。	—	今後、他の所管施設についても取り組みを実施したい。
13	市民向け	アメリカンフットボール部地域支援事業（フラッグフットボール指導）	アメリカンフットボール部	教育・こども部 学校教育室 教育指導担当	○		【事業概要】 アメリカンフットボール部による小学校へのフラッグフットボール指導（出前授業）や桃大グラウンドでの試合体験 【実施内容】 南松尾はつが野学園6年生2クラスを対象に体育の2時間を活用し、実施。	・小グループに1人の大学生が付き、よりきめ細やかな児童観察や指導を行うことができた。 ・フラッグフットボールの授業において、実践的な戦略に基づいて工夫する児童もいた。 ・チーム力を高めるための掛け声やサイン、作戦などをその他の教育活動にも生かす児童もいた。	新型コロナウイルスの影響で2年ぶりの事業実施だったため、学生に少し戸惑う様子も見受けられたが、時間と共に打ち解け、充実した活動となった。
14	市民向け	いずみ市民大学教養学部における連携講義	エクステンション・センター	生涯学習部 生涯学習推進室 生涯学習担当	○		【事業概要】 いずみ市民大学教養学部にて、教員が座学による講義を提供する。 【実施内容】 いずみ市民大学（教養学部）における連携講義の調整及び実施を依頼した。 4名の教員の協力のもと、文化財、ニュース、歴史、経済に関するなどと合計50回の講義を行っていただいた。	市民の興味に基づいた講義をしていただき、市民大学設置の目的である市民の学習意欲の醸成、活力ある地域社会の実現とまちづくり活動を担う人材の育成にご協力いただいた。	講座内容がマンネリ化しないよう毎回新しい内容を取り入れる必要があるが、教員の予定を抑えるのに苦慮している。
15	教育支援	教育・文化・スポーツの発展と振興に関する事業（学外研修：学校現場体験）	教職センター	教育・こども部 学校教育室 教育センター	×	その他	【事業概要】 学生が、市立小中学校・義務教育学校・幼稚園・保育園・教育センター、生涯学習推進室等で、様々な教育活動の補助にあたる。学生は当該活動が学外研修として単位認定される。（令和元年度以降は、実施なし。） ※単位認定を行う形での事業実施は行わないが、単位認定に関わらない個別の取組みについては実施する。 【実施内容】 実施なし。	令和元年度以降、実施されていないため、検証できず。	令和5年度についても、大学としての単位認定を伴う事業実施が行われない（令和5年度についても確認済）。
16	教育支援	教育・文化・スポーツの発展と振興に関する事業（和泉市生徒会サミット）	教職センター	教育・こども部 学校教育室 教育指導担当	○		【事業概要】 事前に設定したテーマをもとにグループで討論会を実施する。 【実施内容】 日時 令和4年8月25日（木） 場所 桃山学院大学 聖ヨハネホール 内容 各中学校の生徒会役員により、事前に設定したテーマでグループ討論（教職課程在籍の学生と意見交流）と全体討論 R4テーマ「SDGsを達成するための生徒会活動について」	今年度で、12回目の開催となり、生徒会役員にとつての活動の場となっている。今回は「SDGsを達成するための生徒会活動について」というテーマで3年ぶりに集合型で開催し、グループ討論や発表を行った。各校の取組みを知ること、今後の取組みを考える貴重な機会となった。	生徒会役員のみでの参加であるため、全体討論された内容等が各校で共有されることが重要。また、会の実施形態について、形骸化しないよう、工夫が必要。

令和4年度連携事業実績一覧表（桃山学院大学）

	実施件数	備考
実施事業 (○)	25	
未実施事業 (×)	8	コロナにより未実施 4件 その他 4件
計	33	

No.	大学_種類	事業名	大学担当部署	市担当部署	実施状況		内容	事業効果・成果	今後の課題等
17	委員委嘱	和泉市地域福祉総合相談員配置促進事業 (CSWへのスーパーバイス)	社会学部 ソーシャルデザイン学科	福祉部 福祉総務課	○		【事業概要】 専門的見地から個別支援や地域支援の事例を通して、CSWの課題整理やアドバイスをいただき、CSWの取り組みをより充実させる。 【実施内容】 毎年度CSW担当者の入れ替わりがあることから、1年単位でSVを進めていくことになる。 第1回（令和4年8月） 増進型福祉について考え方を小野教授より説明頂き、令和4年度SVのスケジュールについて確認を行う。 第2回（令和4年10月） CSW担当地域にて増進型福祉の地域実践を行う。地域住民や一部の関係機関と増進型福祉のワークショップ等を行うことで、地域との調整方法やワークショップにおけるファシリテーション技術を学ぶ。 第3回（令和4年12月） 第2回の増進型福祉ワークショップ後の展開や他CSWの担当地域にてどのように進めていくか等振り返りを行う。 第4回（令和5年2月実施） 増進型福祉の取り組みについて、各CSWより個別事例等を発表した。また令和4年度全体の振り返りをし、令和5年度の取り組みについても話し合った。	小野教授より、増進型福祉の考え方を通じた個別支援や地域支援の事例について、アドバイスをいただくことでCSWの支援の幅が広がった。また、地域住民向けの勉強会開催のため、地域との調整方法などをCSW間で共有することで、地域との関わり方についても学ぶことができた。	今年度は、困難ケースへの対応力を向上させるため全4回のうち3回で個別事例について効果的な支援を考察・実践し、また振り返りを実施することでどのような効果が得られるかを継続的に観測する。また、4回目で1年間の振り返りを行い、行った取り組みの評価を行う。
18	委員委嘱	社会的居場所づくりプロジェクト	社会学部 ソーシャルデザイン学科	福祉部 福祉総務課	○		【事業概要】 社会的に孤立状態にある人（ひきこもり等）の交流の場を社会学部教授の専門的なアドバイスと学生の柔軟なアイデアを活かし、CSWと協働して、社会資源の活用、連携の仕組みづくりを一掃に行い、社会的に孤立状態にある人の就労や生活状況の改善など、自立に向けた支援へ結びつける。 【実施内容】 令和4年度のSVの内容について小野教授、CSW、市で打ち合わせを行った際、居場所づくりプロジェクトにて、学生が参加し関わりが持てるよう調整を行ったが、新型コロナウイルス感染症の感染対策等の理由で、学生は参加できなかった。 参加人数は少なかったものの、令和5年3月にCSWと対象者のみでニュースポーツ（トリコロキューブ、マグダーツ）を行った。	新型コロナウイルス感染症の影響により、学生が事業に参加することができず、連携効果を測ることができなかった。	昨年度できなかった学生の参加を実施するが事業内容を見直し中である。また、事業自体の方向性についても、社会的孤立状態の人が外に出かけるきっかけづくりの場として、より広く受け入れるのか、自立に向けステップアップしていく場としていくのか方向性を検討していく必要がある。
19	委員委嘱	認知症地域で支え“愛”事業	社会学部 ソーシャルデザイン学科	福祉部 高齢介護室 高齢支援担当	○		【事業概要】 「和泉市の認知症支え“愛”を考えるまちづくり連絡会」「認知症初期集中支援事業検討委員会」への参画。随時、認知症地域で支え“愛”事業に関して、研修等の協力依頼・専門的なアドバイスをいただく。 【実施内容】 3月24日に第2回和泉市の認知症支え“愛”を考えるまちづくり連絡会、3月2日に認知症初期集中支援事業検討委員会にご出席いただいた。	「和泉市の認知症支え“愛”を考えるまちづくり連絡会」・「認知症初期集中支援事業検討委員会」に参加した委員・事務局で、専門的な知識を共有できた。	—
20	桃山学生向け	消費者啓発事業	経済学部	市民生活部 くらしサポート課	○		【事業概要】 消費者被害の防止を目的とし、教員との連携により啓発講座を開催する。 【実施内容】 7月6日、11月8日と2回開催	啓発の講座を2回開催し、延べ361名の学生が参加した。	大学生が消費者トラブルに巻き込まれることは多くなり、今後もより多くの学生に啓発できるよう、大学との連携に努める。
21	委員委嘱	和泉市生活困窮者自立支援事業	社会学部	市民生活部 くらしサポート課	×	コロナにより未実施	【事業概要】 専門的見地から相談支援、地域づくり等に関する助言及び連絡会議の外部アドバイザーとして、参加していただく。 【実施内容】 令和3年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響により連絡会議を未実施。	—	新型コロナウイルスの影響が落ち着いたことから、令和5年度において連絡会議を開催し、生活困窮者への支援について、助言等をいただくなど体制強化に努める。
22	その他	地域の魅力・顔づくりプロジェクト<和泉中央>	地域連携課	環境産業部 産業振興室 商工観光担当	○		【事業概要】 「“えき”から広がる大阪の再生」をテーマに、和泉中央駅周辺の活性化を図るため、地域の課題を探り、ニーズにこたえたイベントを企画・実施するにあたり開催されている「まちづくり会議@和泉中央」に参加している。 【プロジェクト推進協議会会員団体】 ・桃山学院大学 ・エコール・いすみ店舗会 ・関西西都市居住サービス エコール・いすみ営業所 ・京北高速鉄道㈱ 運輸部 ・南高バス㈱ 光明池営業所 ・南高バス東部販売 和泉中央店 ・認定こども園いぶきのPreSchool	鉄道・バス事業者、商店街、学校など地域の多様な関係者と行政が協働して、魅力ある和泉中央駅周辺の空間を創造し、まちの活性化を図ることができた。	
23	4つの約束	MOMOYAMAエクステンション・カレッジ	エクステンション・センター	所管部局	×	その他	【事業概要】 地域の万々の知的ニーズにこたえ、より充実した豊かな時間をともに過ごしていただくための社会人向け講座に対し、地産産業や産業・工業関係事業者との調整を行っている。 【実施内容】 事業実施に至らなかった。	—	
24	4つの約束	使い捨てコンタクトレンズ空ケースの回収事業	地域連携課	環境産業部 生活環境課	○		【事業概要】 和泉市民が排出する使い捨てコンタクトレンズ空ケースを適正に回収処理し、ごみ減量及び適正処理の市民意識の高揚と再資源の促進を図るため、令和3年2月2日より『いすみプラスチックごみゼロ宣言』の取り組みとして、桃山学院大学と包括連携を行い、HOYA株式会社アイケアカンパニーが提供する「アイシティecoプロジェクト」に参加している。 【実施内容】 使い捨てコンタクトレンズ空ケースを適正に回収処理を実施。	令和2年度（3月開始）4,273kg、令和3年度69,987kgという回収実績があり、ごみの減量ができています。令和4年度の回収実績は93,075kgで前年度より多く減量ができています。また、「アイシティecoプロジェクト」に参加していることで、(公財)日本アイパング協会への寄付行為の社会貢献ができています。	

令和4年度連携事業実績一覧表（桃山学院大学）

	実施件数	備考
実施事業 (○)	25	
未実施事業 (×)	8	コロナにより未実施 4件 その他 4件
計	33	

No.	大学_種類	事業名	大学担当部署	市担当部署	実施状況		内容	事業効果・成果	今後の課題等
25	—	租税教育推進の街いすみプロジェクト	—	総務部 税務室 教育・こども部 学校教育室	×	コロナにより未実施	【事業概要】 教育機関、県大津税務署、市税務担当及び市教育委員会が積極的に連携し、次代を担う学生等に税の意義や役割を伝えることをめざし、小・中学校にて学生による租税教室等を実施する。 【実施内容】 令和3年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響により事業中止。	—	新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえて実施検討。
26	—	桃山学院大学留学生インターンシップ実習生の受け入れ 【国際交流事業】	国際センター	生涯学習部 生涯学習推進室 生涯学習担当	○		【事業概要】 留学生のインターンシップを受け入れ、市の国際化推進・国際交流事業を体験してもらう。 【実施内容】 8月に、3名の留学生を実習生として3日間受け入れた。市内研修や、青少年センターにおいて実習を行った。	青少年センターの実習では、2日間で合計31名の小学生の参加があり、講座のサポートや児童との交流を行った。参加した児童からは、外国の実習生と交流ができて楽しかったという多数の声があり、子どもたちにとって貴重な体験となった。	留学生となると受け入れ可能な部署が限られる。また、受け入れ時期にもより、受入れの可否も異なるため早めの調整が必要となる。
27	—	インターンシップ	—	市長公室 人事課	×	その他	【事業概要】 インターンシップの実施について、技術職での就職が見込まれる学部（桃山学院大学は該当なし）の学生を対象に実施する。 【実施内容】 令和4年度は技術系の学生を対象に実施したため、該当する学生がいなかったため。	—	
28	—	ビジネスデザイン学部ビジネスデザイン実践授業	大学統括部 BDLオフィス	市長公室 人事課	○		【事業概要】 ビジネスデザイン学部の前期授業（ビジネスデザイン実践）を担当。テーマはふるさと納税の返礼品充実とする予定。8人の職員が学生の指導にあたり、課題解決に向けてグループワークを行う。職員の育成も目的の一つとしている。 【実施内容】 合計8回の授業にて、職員が学生の指導にあたった。	学生への指導を通して、職員の育成につながった。	
29	—	マイナンバーカード出張申請サポート	第62回桃山祭実行委員会	市民生活部 市民室 市民担当	○		【事業概要】 事前予約なしでマイナンバーカードの申請をサポート。無料で申請に必要な写真撮影も行う。 【実施内容】 令和4年11月20日（日）午前10時～午後4時まで	動員人数（委託業者4人含む）：7人 申請件数：14件	特になし。
30	—	社会の中の法体験	法学部	選挙管理委員会事務局	○		【事業概要】 法学部の授業として選挙に関する講義を行い、その後のグループワークに参加。 【実施内容】 令和4年8月8日実施	若年層に対し、選挙に対する興味を喚起し、啓発を行うことが出来た。	継続的に実施するかどうかは大学側のカリキュラム等のこともあるため不透明となっている。
31	—	教育連携事業（PBL型学習プログラム授業）	大学統括部 BDLオフィス	教育・こども部 学校教育室 教育センター	○		【事業概要】 PBL型学習プログラムに関するワークショップ型研修会を実施。R5の実施に向けて、理念やこれまでの実践事例、連携サポート体制について説明。 【実施内容】 教職員研修：令和4年12月8日実施	令和5年度の実践に向け、富秋中学校にて会議を行った。生徒会が主体となり、全校生徒にとって身近な課題解決に向き合うことで、思考力・判断力・表現力の育成が期待できる。	各学校の教育活動でどのようにPBL型学習プログラムを取り入れ、実践につなげていくか。
32	—	和泉・久保惣ミュージアムタウン	地域連携課	生涯学習部 久保惣記念美術館	○		【事業概要】 11月20日の桃山学院大学学園祭（桃山祭）にブース出展し、来場者に対してPR活動を行う。 【実施内容】 桃山学院大学の学園祭で、和泉・久保惣ミュージアムタウンのアピールをおこなった。アートガッシュのパネルを壁に掲示し来賓者に事業の説明をした。展示では地方創生推進交付金の助成を受けた古民家活用事業によってギャラリー兼カフェとして再生した河野邸のスタッフによる松ぼっくりを使ったミニツリー作成のワークショップを開催した。	学園祭と連携した事業PRすることで、若い世代を中心に和泉・久保惣ミュージアムタウンの取組内容を担当者から対面で直接周知することで、認知度・理解度向上に結び付いた。	アートに対して普及制染みがない方々にも、興味関心を惹きつけられるような魅力的なコンテンツを生かしたワークショップ等が企画できるよう、学生との連携が課題である。